

おのまち

2023

2

祝 令和5年小野町二十歳の集い

No.720



二十歳の門出晴れやかに――



久しぶりに会う同級生と再会を喜びあう二十歳の皆さん。凛とした晴れやかな笑顔から明るい未来を感じました。

広報おのまちは



iOS用



android用



で配信中!

- 02 INDEX / 令和5年小野町二十歳の集い
- 04 揮毫者に橋名板のレプリカを贈呈 / 笑顔とがんばり子育て応援金贈呈
- 05 おのまち認定こども園通信
- 06 小野小通信 / 小野中通信
- 08 小野高通信 / 寿大学閉講式
- 09 県統計協議会名誉会長表彰受賞 / 第27回書きぞめ大会
- 10 第39回小野町長杯武道(剣道・柔道)大会
- 11 全国大会出場者へ激励金交付 / ふるさと文化の館情報
- 12 小野町消防出初式 / 新年交通安全祈願祭
- 13 人権擁護委員に委嘱 / 固定資産評価審査委員に委嘱
- 14 小野小町ふるさと応援寄附金
- 15 おのまち地域おこし協力隊活動記
- 16 住民票などのコンビニ交付が始まりました
- 17 マイナンバーカード、マイナポイントについて
- 18 軽自動車の譲渡・廃車手続きなどは3月31日までに!
- 19 自動車は3月31日までに運輸支局へ登録を!
- 20 ふくしま就職ガイダンスを実施しますなど
- 21 町税など納期のご案内 / 国民年金コーナー
- 22 みんな笑顔で健康づくりコーナー
- 24 公立小野町地方総合病院からのお知らせ / 地域包括支援センターからのお知らせ
- 25 夜間診療所当番医・休日当番医
- 26 各種健診・教室日程
- 27 食品放射能測定結果 / 上水道水質検査結果 / お誕生日おめでとう / おくやみ申し上げます / 町の人口と世帯数
- 28 Happy 1st Birthday

令和5年 小野町 二十歳の集い



令和5年小野町二十歳の集いが1月8日、多目的研修集会施設大ホールで行われました。

今年の対象者は、平成14年4月2日から平成15年4月1日までに生まれた方で、式には70人が出席しました。

式では、柳沼凜さん(谷津作)が町民憲章を朗読した後、町長の式辞において、二十歳を迎えられた方にお祝いと励ましのことが添えられました。

次に二十歳を迎えられた方一人ひとりの名前が読み上げられ、代表の小野幸菜さん(雁股田)に二十歳の証書が授与されました。

田村議長からの祝辞の後、齊藤盛さん(夏井)が「大人としての自覚と責任を果たし、社会に貢献できる人になれるよう努力していきたい」と二十歳の抱負を述べました。

二十歳を迎えられた皆さんの今後ますますのご活躍をご祈念します。



- 1_町民憲章を朗読する柳沼さん
- 2_二十歳の証書を授与される小野さん
- 3_二十歳の抱負を述べる齊藤さん



—— 二十歳の皆さん、おめでとうございます ——



03年		02年				
3月	1月	10月	9月	8月	5月	4月
宮崎駿監督「千と千尋の神隠し」がアカデミー賞長編アニメ賞を受賞	第65代横綱貴乃花が引退	テレビアニメ「NARUTO」が放映開始	初の日朝首脳会談	多摩川にアゴヒゲアザラシの「タマちゃん」が出現	FIFAワールドカップ開催(日本・韓国の協同開催)	多くの公立小・中・高校が完全週5日制になる

日本・世界のできごと

02年	
9月	4月
無量寺のしだれ桜(小野赤沼)が小野町天然記念物に	小野町火葬場「おの悠苑」が完成

小野町のできごと

二十歳の皆さんが生まれた2002年(平成14年)の主なできごと

きごう
揮毫者に橋名板のレプリカを贈呈
 橋名板の揮毫に謝意

県は、整備中の県道吉間田滝根線と右支夏井川筋河川改修で架設する「こまち大橋」「大倉橋」「荒町橋」の3橋について、身近にある道路や河川に親しみを持ってもらおうと小野小学校と小野中学校の皆さんに橋名板の文字を書いていただきました。

3つの橋の橋名板の揮毫に協力していただいた小野小学校の児童ならびに小野中学校の生徒に謝意を込めて、昨年12月20日、発注者である福島県県中建設事務所の宗像誠也所長が両校を訪れ、橋名板のレプリカを贈呈しました。

●こまち大橋



長久保 迪男
 (小野中3年)



近野 大輔
 (小野中1年)



成田 百花
 (小野小6年)

●大倉橋



木村 心音
 (小野中3年)



岩塚 結咲
 (小野小5年)

●荒町橋



佐藤 真子
 (小野中3年)



白石 陽
 (小野中2年)



今泉 幸斗
 (小野中1年)



揮毫に協力いただいた皆さん



健やかな成長を願って
 笑顔とがんばり子育て応援金贈呈



新たな町民の誕生を祝福し、赤ちゃんの健やかな成長を願い、「小野町笑顔とがんばり子育て応援金」が贈られました。あわせて町有林の間伐材で作られた子ども用いす「おめでたいっすー」と乳児期から読書にふれてもらうための「絵本セット」が贈られました。

贈呈を受けたお子さんは次のとおりです。(敬称略)

大山 凜虎 村上 紗奈 村上 らら





初めての冬

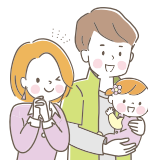
おのまち認定こども園が開園してから初めての冬がやって来ました。日に日に寒さが増えてきて、子どもたちから「息が白くなったね」「雪、降らないかな?」と、冬の遊びや雪遊びを楽しみにしている声が聞かれましたが、先日念願の雪が降り、お家の人に準備してもらったスノーウェアを着て、わくわくしながら外に行く子どもたちの姿をほほえましく感じました。

3歳以上児のクラスは、雪が降ると、雪合戦を楽しみ「ジャンパー暑いよー!」と寒さにも負けず元気いっぱい遊んでいました。みんなで雪を集めて雪だるまを作り、園庭のあちこちにちょっと泥の混じった大小さまざまな雪だるまが並ぶと、冬景色らしくなりました。また給食のデザートのカップを利用して水を入れ、次の日に氷ができて

いるのを見て「水が氷になったよ!」と、その変化を喜んでいました。

年長児は園の裏山の「森の広場」に散歩に出掛け、大きな霜柱を見つけると、自然の不思議を感じたようで、観察したり触ったりしていました。実際に持ってみるとずっしりと重かったので、みんなで力を合わせてこども園まで持ち帰り、大切にしていました。

3歳未満児のクラスは、空から降ってくる雪を不思議そうに眺め、中庭での雪遊びを楽しみました。雪の冷たさに驚くだけでなく、溶けてなくなった雪に「なくなったね」と興味津々の子ども達でした。寒さに負けず、今しかできない冬の遊びを十分に経験し、冬でも園の活動を楽しんで過ごせるようにしていきます。



地域子育て支援事業のお知らせ



■開設日
月曜日・水曜日・金曜日

■料金 無料

■開設時間
午前10時から午後3時まで

■予約先
おのまち認定こども園
☎73-8321

●2月のイベント

★絵本の読み聞かせ

2月22日(水)

午前11時から午前11時30分まで

※イベントには定員がありますので
あらかじめご了承ください。

学校運営協議会

第2回小野町学校運営協議会が、昨年11月22日に小野小学校を会場として行われました。

学校運営協議会は、学校運営に関して、町教育委員会および校長の権限と責任のもと、保護者および地域住民の学校運営への参画や支援・協力を促進することにより、学校と保護者および地域住民相互の信頼関係を深め、学校運営の改善や児童生徒の健全育成に取り組むことを目的としています。

今回は、委員の皆さんに児童が学ぶ姿をご覧いただき、その後、地域や学校の課題についての情報を共有、これからの対応について活発な意見交換が行われました。



ふるさとの先輩に学ぶ

ふるさと小野町会の皆さんから小野中学校全校生239人に「私のコンピュータ黎明期回顧録」という冊子を寄贈いただきました。神奈川県支部の横田尚恭さんの回顧録です。

会長の春山泰さんのまえがきには「これから将来に向けて、夢と希望を持って旅立たれる若人の皆さんに、一人でも多くバトンリレーができれば」という気持ちが込められています。横田さんの後記にも「これからふるさとを旅立つ若人が、楽しい人生を歩むヒントに役立てていただきたいとの思いが湧いて」と書かれていました。この冊子を読んだ中学生の感想をご紹介します。(次ページ)

冊子を寄贈していただいた、ふるさと小野町会の皆さんに紙上より厚くお礼を申し上げます。



左から)教育長、副町長、町長、春山さん、横田さん



小野中学校1年
西牧 晏那さん

人と人とのつながりと努力の行き先

私が回顧録を読んで学んだことは人と人とのつながり、努力の行き先です。

私はコンピューターのことは、よくわかりません。しかしこの回顧録を読んでコンピューターの歴史について知ることができました。昔のコンピューターは、今と比べるとまだまだ未熟なものでした。その未熟なコンピューターがここまで大きく成長できたのは、多くの人々が協力し、努力を重ねてきた成果だと思いました。今の世の中はほとんどすべてのものにコンピューターが使われています。私も生活の中でスマートフォンを活用して、便利に楽しく日々を送れています。自分の身近なモノひとつひとつに、人々の努力が秘められていることを思うと感謝の気持ちでいっぱいです。

私は自分の小さな努力が時に実を結び、誰かの役に立つことを学びました。小さなことにも挑戦し、努力することを大切に生きていきたいです。



小野中学校2年
泉 陽太さん

将来への希望と意欲

私は「私のコンピュータ黎明期回顧録」を読んで、今の世の中の便利な機械や情報通信機器を使って、簡単にコミュニケーションがとれるのは、横田さんのような方々がいらっしやっただからなのだと思います。私がイメージする現代のコンピューターになるまでには、きっと想像することもできないようなたくさんの困難や問題があったのだと思います。そうなるまでの過程に横田さんが考案し、提案した回路が使われているというのはとてもすごいことだと思います。私も将来、何かの発展に携わってみたいなと思いました。

また「ふるさと」はとても大切なのだなとも思いました。理由は、横田さんの体験の中で地元が同じ福島県で距離が一気に近くなったという話があったからです。もしかしたら私も横田さんのように将来、仕事などで福島県出身の人に会うかもしれません。その時はその人と仲良くなりお互いに助け合える関係になりたいなと思います。



小野中学校2年
矢内 陽人さん

努力と決意

私は「私のコンピュータ黎明期回顧録」を読んで、最初に印象に残ったのは表紙の写真でした。私は普段、パソコンを使います。しかしこの回顧録の表紙に写っていた大きな机いっぱいにおかれた機械が1台のパソコンと知った時、驚きました。しかも、とても大きいのに今のパソコンの何百分の一の性能であること知り、なおさら驚きました。

私がこの本を読んで学んだことは、筆者の方やこの時代のカスタマーエンジニアの方々はとても大変な毎日だったということです。毎日のように起こるシステムトラブルやお客さんへの対応などは現代よりも、もっと大変だったと思います。しかし、そのような人たちの努力のおかげで、今のコンピューターやWi-Fiなどがあります。私はこのことに感謝するとともに、どんなことでも努力し続けるようにしていきたいと思いました。今、やるべきことは勉強と部活です。たとえ大きな困難があったとしても解決方法を見つけられるようにしたいと、この冊子を読んで、決意したいと思いました。

創立80周年記念式典を挙行

創立80周年記念式典を昨年12月17日に小野町多目的研修集会施設でご来賓の方々の多くの出席を賜り、盛大に挙行了しました。その後アトラクションも披露され、小町夢太鼓の皆さんとシンガーソングライターのMANAMIさんの演奏で花を添えていただき、80年という本校の長い歴史の節目を心に刻むことができました。



課題研究発表会

課題研究発表会が昨年12月9日に行われ、3年生が自ら設定したテーマについて研究成果を発表しました。

小野町の観光から日本の諸問題まで幅広いテーマを取り上げ、いずれの発表も工夫が図られ、とても素晴らしい内容でした。各発表の最優秀は次のとおりです。(敬称略)

【口頭発表部門】 3年2組 宮内 美生咲

「夢をカタチに～学校の良さを広めるために私にできること～」

【展示発表部門】 3年2組 渡邊 永恋

「絵本の読み聞かせは子どもたちにどのような影響があるのか」

【文書発表部門】 3年1組 西山 かやの

「高校生の睡眠の質を上げるためには」



君の夢をカタチに！！
福島県立小野高等学校

福島県田村郡小野町大字小野新町字宿ノ後63

☎0247-72-3171 FAX 0247-72-6211

<http://www.ono-h.fks.ed.jp>

寿大学 閉講式が実施されました

寿大学の閉講式が昨年12月21日に行われました。

式典では、町長から式辞があり、受講生を代表して郡司多以子さんに、修了証書が授与されました。

また講師としてお世話になった、ちぎり絵クラブの郡司茂子先生から「皆さんの意欲的に学習に取り組まれている姿勢は、私たちにとっても大変刺激となり、一緒に楽しく活動をさせていただいた」とご祝辞をいただきました。

受講生を代表して望月孝

之さんから「寿大学で得た知識や教養を生かして、地域社会に貢献していきなさい」と謝辞をいただきました。

式典終了後は教養講座を開催し、町と健康増進に関する包括連携協定を結んでいる明治安田生命保険相互会社の菅野さんから「ちよつと健康に詳しくなるセミナー」と題して講演していただきました。



1_修了証書を受け取る郡司多以子さん / 2_祝辞を述べる郡司茂子先生 / 3_受講生代表謝辞を述べる望月孝之さん